



THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO
CHARTERED ON NOVEMBER 21, 1955

2017年7月

c/o YMCA
MINAMI 11 NISHI 11
CUO-KU SAPPORO
〒064-0811
011(561)5217

札幌クラブ

The Service Club of YMCA
The International Association of Y's Men's Clubs

Kick Off / YMCA Service / ASF / RBM

— 主 題 —

国際会長 Let Us Walk in the Light- Together
—Fellowship across the Borders—
アジア会長 Let Us Walk in the Light- Together
東日本区理事 広げよう ワイズの仲間
北海道部部長 EMCの強化
札幌クラブ会長 楽しいワイズ

Henry Grindheim (ノルウエー)
Tung Ming Hsiao (台湾)
栗本 治郎 (熱海)
森 熊治郎 (札幌北)
柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員

会 長 柴田 伸俊
副会長 中田 千鶴
書 記 中田 靖泰
会 計 秋葉 聡志
直前会長 宮崎 善昭

今月の聖句

この国のすべての民よ。強くあれ。仕事に取りかかれ。わたしがあなたがたとともにいるからだ。
—万軍の主の御告げ— あなたがたがエジプトから出て来たとき、わたしがあなたがたと結んだ約束により、わたしの霊があなたがたの間で働いている。恐れるな。 ハガイ書2章4～5節

理事運営方針 東日本区理事 栗本 治郎 (熱海)

理事主題 「広げよう ワイズの仲間」
(Extension Membership & Conservation)
スローガン
「楽しくなければ ワイズじゃない
積極参加で 実りある奉仕」
(Joyful life through Y'sdom Service
with Positive action)



東日本区は1997年の発足時に会員数1246名でスタートしましたが、毎年のように会員の減少と共に高齢化が進みました。クラブの平均会員数も1997年時には、約21名でしたが現在は約15名です。このことは日本における少子化と同じくワイズにとっての一番の問題点です。そこで、今期の理事方針を「広げよう ワイズの仲間」とし、英語表示をズバリ「E・M・C」と致しました。

会員の一人一人が会員増強の意識を強く持ち、新会員候補の発掘・推薦を心掛け、15名以下のクラブは会員数20名を目指し、また、部にエクステンション委員会を設置し、積極的に新クラブ設立に取り組む体制を作りたいと思います。

基本方針

▼部の強化・活性化

部の活動を強化し、部長・主査が主体的に活動し部の活性化を図る。部長のリーダーシップの下、主査は委員会を設け、一人委員会でない実効性のある、充実した部の活動を目指すと共にクラブ間交流を深める。部会・研修会の充実を図る。

▼YMCA との協働

ワイズメンのYMCA 会員率100%を目指す。
各事業の目標

1. 会員増強事業

- ▼部にエクステンション委員会を設置する。
- ▼例会出席率の向上。(プログラムの充実)
- ▼クラブの会員数20名を目指すと共に、理想的な会員数とされる30~40名を目標とする。

2. 地域奉仕事業

- ▼地域における知名度を高めるCS事業を推進し、「入会したいクラブ」を目指す。
- ▼所属YMCA との相互理解と協働プログラムを推進する。

3. 国際・交流事業

- ▼IBC・DBCの交流を推進する。
- ▼各献金の目標を達成する。

4. ユース事業

- ▼次世代のワイズとYMCAを担う若者を育成する。

5. メネット事業

- ▼メネット活動の活性化を推進する。

2017年6月例会 在籍会員 11名 例会出席 9名 メネット 0名 メーカーアップ 2名
出席報告 ゲスト 7名 ビジター 2名 計 18名 出席率 73%

札幌ワイズメンズクラブ

2017年7月例会

日時 2017年7月18日(火) 18:30~20:30

会場 北海道YMCA

札幌市中央区南11条西11丁目1-2

Tel. 011-561-5642

会費 1,000円

プログラム

- 司会 中田 千鶴
- ① 開会点鐘 札幌クラブ会長 柴田 伸俊
- ② ワイズソング・ワイズの信条 全員
- ③ 聖句 秋葉 聡志
- ④ 開会挨拶 札幌クラブ会長 柴田 伸俊
- ⑤ 誕生日・結婚記念日

7月3日

中田 靖泰

7月15日

小野 エリナ

⑥ 卓話



札幌クラブ会長運営方針

札幌クラブ会長 柴田 伸俊

⑦ 今月の歌

「若者たち」

藤田敏雄作詞・佐藤勝作曲



- ⑧ 諸報告
- ⑨ YMCA報告 担当主事 佐藤 雅一
- ⑩ みんなで歌おう
- ⑪ 閉会挨拶 札幌クラブ会長 柴田 伸俊

何故 この聖句を？

ハガイは「バビロンの捕囚」から帰還後の最初の預言者です。廃墟と化した「ソロモン神殿」を再建しようとするイスラエルの民たちに呼びかけています。現代に通じる状況です。

今も、何かことを始める時、苦難に見舞われ絶望している時に読み返して心に残る言葉です。

札幌ワイズメンズクラブ6月例会

日時：2017年6月20日(火) 18:30~20:30

場所：北海道YMCA 総主事室

参加者：秋葉、川上、佐藤、柴田、中田千、中田靖、伏木、安田、宮崎

ビジター：義村小夜子(札幌北)、工藤啓司(札幌北)

ゲスト：中上朝樹、植田浩司、河合 寛、田巻聖

香、伏木淳、住吉さち(以上チミケップOB)、

木田貴浩(YMCAスタッフ) 合計 18名

2016-17年度最後の例会はチミケップキャンプ場のこれからを語り合いました。伏木会員の呼びかけでチミケップOB6名が道内各地から駆けつけ、熱い議論で盛り上がりました。(p.3 参照)

食事の最初には「ごはんだ ごはんだ」という「食事の歌」を歌い、例会の最後はあの「燃えろよ 燃えろよ」という「キャンプファイアの歌」で締めました。キャンプ気分満喫の楽しい例会でした。



写真上：左から、佐藤、中田千鶴、義村(札幌北)、伏木康、川上、秋葉、柴田、宮崎 (カメラの裏、中田靖泰)

札幌ワイズメンズクラブ7月事務会

日時：2017年6月27日(水) 19:00~20:00

場所：北海道YMCA 総主事室

参加者：秋葉、佐藤、柴田、中田千、伏木、宮崎

① 7月例会：7月18日(火) 18:30~20:30

会場：北海道YMCA

② 7月事務会：7月25日(火) 19:00~20:00

③ ブリテン：聖句 秋葉聡志、

巻頭言 柴田伸俊

④ 誕生日：7月3日 中田靖泰

7月15日 小野エリナ

結婚記念日：なし。

⑤ 7月の卓話：

「2017-18年度札幌クラブ活動方針」

2017-18年度札幌クラブ会長 柴田伸俊

⑥ 柳沼慈子会員から「『業務多忙』のため常時例会出席が困難なため退会したい」との申し入れがあり、やむを得ないものと判断し、承認することとした。なお、今後、札幌クラブの行事、イベントなどには積極的に支援して下さい。

⑦ 7月15日(土)~16日(日)チミケップ・ワークを行う。現在の参加者は、柴田会長夫妻、伏木会員の3名。

⑧ 北海道部第1回評議会・部会が8月19日(土)北海道YMCAで開催される。出席者確認。

YMCAチミケップキャンプのサステナビリティを考える」 伏木 康他



チミケップキャンプのOB6名をゲストとして招き、参加者は総勢18名でした。 標記のタイトルは私が付けたのですが、私と年齢の近い昔のキャンプ仲間で、近年、チミケップキャンプの参加者が右肩下がりで減って、心配だという

声が聞かれるようになりました。 企業でも売上の減少が続けば、存続が大変です。

北海道YMCAは今年120周年ですが、チミケップキャンプも50年を超える歴史があります。 長い歴史を誇るYMCAの中でも、1964年に始まったチミケップキャンプが今までよく続いてきたという人もいますが、今後も存続してほしいという想いをを持った人に自由に語ってもらうことにしました。

冒頭、北海道YMCAの野外担当スタッフの木田さんに、問題提議のプレゼンをしてもらいました。 長い歴史故、風呂、キャビンの老朽化した様子の写真を見て施設の問題（ハードの問題）がクローズアップされました。

また、北海道の大学生は学校のスケジュールでお盆前にならないと夏休みにならず、キャンプの期間中は期末試験でリーダーが集まらないという学校教育日程のミスマッチというソフトの問題も明らかになりました。

現在、子供たちの面倒を見るリーダーは道外の日本人大学生ではなく、台湾の大学生に依存しているとのことでしたが、台湾の大学生がチミケップを高く評価しているのはとてもうれしく思います。 これは、冬のニセコにやってくるオーストラリア人と似ているような気がします。



キャンプのOB6名は以下の通りです。

- ① 中上朝樹 北見YMCAのOBリーダー（キャンプネーム ズリ） 現在もアウトドアのスペシャリストです。
- ② 植田浩司 札幌YMCのOBリーダー（キャンプネーム よっちゃん） 週末になると、キャンプ場に通い、昨年の台風で受けたダメージの復旧作業に汗をかいています。
- ③ 河合 寛 私の先輩（キャンプネーム かん）で旭川から参加してくれました。1970年代にキャンプしていた皆さんの想いも話してくれました。
- ④ 田巻聖香 1970年代から私と一緒にキャンプをしている仲間（キャンプネーム キミ）ですが、最近はキャンプ場のキッチンを手伝っています。
- ⑤ 伏木 淳 私の弟で、私と同様中学生からチミケップに通っています。
- ⑥ 住吉 さち 同年代ではなく、20歳代の若手。 国際感覚が優れ、海外のキャンプ場との違いで建設的な意見を頂きました。参加したワイズメンからも、以前お子様をキャンプに参加させたから、キャンプの教育的効果を評価する声が寄せられました。 また、ピアニストの安田ワイズがポーランドに留学時代、週末によくキャンプをしていた逸話も新鮮でした。（伏木 康 記）



左から、義村（横顔）、川上（横顔）、秋葉、柴田、宮崎。右端は大きなジェスチャーでチミケップへの思いを語る中上さん。



勢ぞろいしたチミケップOB軍団。左から住吉さん（女性）、田巻さん（女性）、河合さん、伏木淳、植田さん、工藤さん、木田さん（YMCAスタッフ）

YMCAニュース 担当主事 佐藤雅一

①日本語集中クラス

7月10日 3回目となる日本語集中クラスが開始されました。韓国9名・台湾8名・合計17名の参加者が24日まで日本語を勉強すると共に、市内観光・文化体験・専門学校生との交流などを行います。今年の特徴は、シニア層の参加があり、70才の男性が最高年齢です。

②海外ボランティアリーダー

今年も海外からボランティアリーダーがチミケップ国際キャンプ場にやっています。

すでに、サハリンから2名、台湾から8名のボランティアリーダーが到着しており、17日にはアメリカからの2名のボランティアリーダーもキャンプ場入りします。

③ベトナムボランティアワークの旅

第22回ベトナムボランティアワークの旅が今年は8/2-12の日程で行われ、5名のボランティアとスタッフ1名が参加します。



④清田高校

7/14・15日 清田高校で学校祭が行われ、北海道YMCAのベトナムグッズ・ハンディキャップセンターのビーズキーホルダーが販売されます。

3年前、フェアトレードフェスタでYMCAのビーズ製品を見た学生と先生が学校祭での販売を企画しYMCAに依頼がありました。それ以降毎年続いており、今年3回目になります。

売上の一部は、清田高校の学生達が取り組んでいる国際協力活動のためにも使われています。

⑤120周年記念ジャズコンサート

チケット販売開始

9月21日 時計台ホールで行われる北海道YMCA 120周年記念ジャズコンサート「飯田さつきトリオコンサート in 時計台」のチケット販売がスタートします。

1枚2,000円 販売にご協力お願いします。



北海道部第1回評議会・部会

日時： 8月19日(土)
 受付開始 13:00 評議会開始 13:30
 会場： 北海道YMCA
 札幌市中央区南11条西11丁目
 Tel. 011-563-0041
 部会： 記念講演

「イスラエルの今」

講師 日本聖公会 司祭 **大友正幸氏**

懇親会： 部会終了後、会場を「Kダッシュ」に移して行います。

ケ-ダッシュ (オムレツ専門レストラン)

札幌市中央区南8条西13丁目

参加者は柴田会長までご連絡ください。



2017-18年 巻頭言・聖句 分担表

		巻頭言	聖句
2017年	7月	柴田 伸俊	秋葉 聡志
	8月	秋葉 聡志	佐藤 雅一
	9月	小野 健	中田 千鶴
	10月	川上 由美子	中田 靖泰
	11月	佐藤 雅一	宮崎 善昭
	12月	柴田 伸俊	秋葉 聡志
2018年	1月	中田 千鶴	佐藤 雅一
	2月	中田 靖泰	中田 千鶴
	3月	伏木 康	中田 靖泰
	4月	宮崎 善昭	宮崎 善昭
	5月	安田 文子	秋葉 聡志
	6月	柴田 伸俊	佐藤 雅一



お便り欄を開設します！

次号8月号より「お便り欄(仮称)」を開設します。近況報告、ふと思ったこと、なんでも3~4行にまとめて投稿してください。

ワイスの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。